
暗闇の道

THEAF

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

暗闇の道

【Nコード】

N7017D

【作者名】

THEAF

【あらすじ】

人生の大きく変えられてしまった、人のお話

第1話

眠い目を擦りながら、窓を見る。大嫌いな雪が降っている。『寒い』などの愚痴をこぼしながら、布団に入る、いつもの日曜日の過ごし方だ。

だが、今日は違った。

窓を見ると、

雪がやんでいて、携帯には誘いのメールが何通か。

「雪が降っていないだけでみんな元気だな」

なんて呟きながら返信する『今日は行けない』と。別に用事がある訳ではないし、遊びたくない訳でもない。いつもと違う日々を過ごしたくないだけかもしれない。安全策のようなものだろう。怖いのだ、違うということが。気付けば、なんでも周りの人に合わせている。趣味や流行、少しでも遅れていると不安になる、こんな自分が嫌いであつた。でも、この状況が分かっているのに抜けだそうとしない自分はもっと嫌いであつた。

そして、いつも通りの生活を始める。

顔を洗う

ご飯を食べる

テレビを見る

ここまでは、いつも通りだった。しかし、変えられてしまった。最悪の方向に……

父の勤めている会社の倒産のニュースが流れた。

絶句した。

これは、天罰だったのかもしれない。自分で自分を変えられない私への……

それから、全てが変わった。たった一つのニュースがこれほどまで人生を変えてしまうのかと嘆いた。

学校を辞め、アルバイト生活に

母も職を探し始め、父は再就職先を探す。

家で孤独の時間が増えた。友達からのメールが減り、そして、無くなった。

何回もメールを問い合わせたこともあった。

私は、

「友達」という言葉を恨み、人を信用できなくなった。

訳も分からず悲しくなった。

第2話

あの悪夢のような日から、一ヶ月がたった。

あの日から、何も変わっていない。

母は正社員で雇ってくれるところは無く、パートを毎日の様に働いてる。

父はいろいろな会社を受けてみているが、良い返事は無い。

私はというずっとバイトをしている。

今度は、自分から変えようとしているのに、全く変わってくれない、後悔だけが残っている。『何故、あの時、自らを変えようとしなかったのか』と。

あの日から、

私は人を信用しなくなってしまうている。無意識の内に壁を作ってしまったているのだ。もう、傷付くのが嫌だからだと思う。

でも、バイト先にズカズカと踏み込んでくる野郎がいる。桃井 薫もい かおるという高三の人だ。人の気持ちも知らずにズカズカと・・・でも、そういう所に助けられているとも言えるのだが・・・

よくバイトが終わると声をかけられる。

「バイト終わった？遊びに行かない？」

「あなたと遊ぶ程、暇じゃないから、パス」

毎日、同じ会話をする。 「つまんないの」

そう言って、しぶしぶ帰っていく。

何故か、そんな会話に安心して自分が出た、その時は理由は分からなかった。

会話が終わるといつも通り家に帰る、でもバイト中の方が全然楽し

い。

あの日から、家に居ることは苦痛にしかなくなっただからだ。

家に居ると嫌なことしか思い浮かばない。

何かが、壊れかかっている気がした。

何かが足りない、そう思った。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7017d/>

暗闇の道

2010年12月12日23時42分発行